

R4 全教科についての指導方法の課題分析と具体的な授業改善策

教科名 (体 育)

◎…優 ○…良 △…可 コメント可

	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	改善状況
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> ・体づくり運動などで取り組む様々な動きを、年間を通して継続的に指導すること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・用具の適切な使い方やきまりを説明してから活動を行い、安全に取り組めるようにする。 ・おもしろそう、やってみようと思えるように指導を工夫する。 ・運動量を十分に確保する。 ・技能に関する具体的な助言をする。 	◎ ○ ◎ ◎
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> ・経験している運動の種類が少なくなってしまうので増やしていくこと。 ・固定遊具に触れる機会が少ない児童や運動が苦手な児童への支援。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体の基本的な動きや各種の運動の基礎となる動きや遊びを多く取り入れる。 ・技能を獲得できるような場の工夫をする。 ・練習時間を十分に確保する。 	○ ○ ◎
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の特性に応じた技能を伸ばせるような活動や場の工夫。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の系統性を踏まえた学習過程の工夫や場の設定をする。また運動することが楽しいと思える課題設定をする。 ・学習カードを活用して課題の設定や振り返りの手助けとなるようにする。 ・補助具を活用する。 	○ ○ △
第4学年	<ul style="list-style-type: none"> ・運動によって得意、不得意の偏りをなくしていくこと。 ・個人差がある運動の特性に応じた思考力や判断力を伸ばす指導。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の系統を踏まえた学習過程の工夫や場の設定をする。 ・補助具や学習資料を工夫し、誰もがめあてをもって運動し、振り返りができるようにする。 	◎ ○
第5学年	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の楽しさを味わわせ、自ら取り組もうとする意欲をもたせること。 ・運動の特性に応じた技能、思考力、判断力における個人差が大きいため、その差を小さくするための指導の仕方。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カードを活用し、めあてをもって運動に取り組めるようにする。グループやチームで取り組める時間を増やし、互いに学び合える場を用意する。 ・課題解決のための運動の仕方や場の選び方、ルールの工夫など、児童が積極的に取り組めるようにする。 	◎ ○
第6学年	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の楽しさを味わわせ、自ら取り組もうとする意欲をもたせること。 ・運動の特性に応じた技能、思考力、判断力における個人差が大きいため、その差を小さくするための指導の仕方。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カードを活用し、めあてをもって運動に取り組めるようにする。グループやチームで取り組める時間を増やし、互いに学び合える場を用意する。 ・課題解決のための運動の仕方や場の選び方、ルールの工夫など、児童が積極的に取り組めるようにする。 	○